造影剤使用の説明書（同意書）

造影検査とは？

より正確な診断を行う為に静脈内に造影剤を投与して検査を行います。
病気の種類によっては造影剤を使用して初めて診断可能なものも多いです。

副作用の種類や発生頻度は？

造影剤は安全な薬ですが、他の薬と同様にアレルギー体質の方や、持病によっては、
副作用が出現することがあります。
副作用の種類には1～3のようなものがあります。

1：軽い副作用

吐気、嘔吐、蕁麻疹、発疹、などで発現率は約0.2％～1％です。
多くの場合治療は必要としません。

2：重篤な副作用

血圧低下、呼吸困難、意識消失、などで発現率は約0.001％～0.017％です。
このような副作用の場合は、点滴、昇圧剤、抗アレルギー薬などの治療が必要です。

3：遅発性副作用

検査数時間以降に発疹などの症状が出ることがあります。

造影剤使用後の注意事項

・MRIで造影剤を使用した場合、検査後**24時間**は授乳を控えて下さい。
・CT で造影剤を使用した場合、検査後**48時間**は授乳を控えて下さい。
・造影剤の排出を促す為、検査後は水分を多めに取って下さい。

造影剤使用の同意書

私は造影剤に関してその必要性と副作用の可能性について説明を受け
理解した上で、造影剤投与に同意いたします。

令和　　年　　月　　日

本人のご署名（代理人）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

緊急連絡先（本人以外）TEL：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

医療法人社団 雅厚生会 千葉新都市
ラーバンクリニック
MIYABI KOUSEIKAI CHIBA SHINTOSHI RURBAN CLINIC

造影検査問診票

当てはまるものだけに✔を入れて下さい。

※CVポートからの造影検査は当院では行っておりませんのでご了承ください。

（例） ☑ 嫌いな食べ物がある。

☐ 1.（ガドリニウム・ヨード）造影剤に対し過敏症の既往歴がある。

☐ 2.これまでに造影剤を使用した検査を受けたことがある。

☐ 3.その検査中や検査後に、何かしらの異常が出たことがある。

※異常が出たことがある方に質問です。該当する症状に〇をつけて下さい。

吐気　・　嘔吐　・　蕁麻疹　・　発疹血圧低下　・　呼吸困難　・　意識消失

その他（　　）

☐ 4.甲状腺の病気と言われたことがある。　（バセドー病など）

☐ 5.腎臓が悪いと言われたことがある。　（無尿症、腎不全など）

☐ 6.肝臓が悪いと言われたことがある。

☐ 7.気管支喘息と言われたことがある。

☐ 8.心臓が悪いと言われたことがある。

☐ 9.マクログロブリン血症と言われた事がある。

☐ 10.多発性骨髄腫と言われた事がある。

☐ 11.テタニーと言われた事がある。

☐ 12.褐色性細胞腫と言われた事がある。

☐ 13.高血圧と言われた事がある。

☐ 14.糖尿病と言われた事がある。 ←

ビグアナイド系糖尿薬をご使用中の場合は、ヨード造影剤との併用で乳酸アシドーシスの恐れがありますので、**造影検査の前後各48時間ビグアナイド系糖尿薬を休薬してください。**

☐ 15.アレルギー体質・アレルギー性の病気がある。

☐ 16.家族に気管支喘息、蕁麻疹、薬物アレルギーをおこしたことのある人がいる。

☐ 17.現在、妊娠中、または妊娠している可能性がある。

☐ 18.現在、授乳している。

☐ **19.腎機能**

BUN（　　）mg/dl
正常値：8.0～23.0mg/dl

CRE（　　）mg/dl
正常値：M　0.61～1.08mg/dl
　　F　0.45～0.82mg/dl

1・4・17に該当する患者様は、造影CT検査が出来ませんのでご了承下さい。

1・5・17に該当する患者様は、造影MRI検査が出来ませんのでご了承下さい。

3・6～12に該当する患者様は、原則としてお受けできませんのでご了承下さい。

主治医　　印